

表1 地理環境学科・コースの学習・教育到達目標とその達成度評価(GEOG-2019)

首都大学東京都市環境学部地理環境学科・コースの学生が卒業するまでに修得すべき「学習の目標」です。修了するためには、以下の(A)～(J)のすべての項目で判定基準の「2」以上を達成していることが必要です。また、判定基準の中にある優秀とは、該当科目の成績が2016年度以降入学者では優または秀、2015年度以前入学者では優(いずれも5段階評価の4または5)であることを意味します。この「学習目標」は2005年度入学者から適用されます。なお、毎年、若干の変更が行なわれる可能性がありますので注意して下さい。

学習・教育到達目標	評価基準	判定基準
細目	評価項目	細目の判定基準(成績の5段階評価に基づく)
(A) 限りある地球環境を持続可能なものにするために、環境・資源情報の収集や解析技術を駆使して、科学・技術が社会や自然に及ぼす影響とその効果を思考する能力と素養	(A-1) グローバルな視点とローカルな視点を併せ持つ、自然環境と人間活動の関わり合いを総合的に考える能力と素養 (A-2) 科学・技術が過去の歴史の中で果たしてきた役割を理解し、現在から将来にかけて地球的自然と共生するためのデザイン上の必要性を理解する能力と素養	1.(1)～(5)のいずれかを満たさない。 2.(1)～(5)のすべてを満たす。 3.(1)～(5)のすべてを満たし、1科目が優秀である。 4.(1)～(5)のすべてを満たし、2科目以上が優秀である。 1.(1)～(5)のいずれかを満たさない。 2.(1)～(5)のすべてを満たす。 3.(1)～(5)のすべてを満たし、1科目が優秀である。 4.(1)～(5)のすべてを満たし、2科目以上が優秀である。
(B) 人間の立場から科学・技術が社会や自然環境に及ぼす影響を理解し、技術者として社会に対する責任を自覚する能力	(B-1) 地球環境問題に対する文理連携的な技術の有効性を理解する能力と素養 (B-2) 技術が地域に与える影響について、技術者としての責任を自覚する能力	1.(1)～(5)のいずれかを満たさない。 2.(1)～(5)のすべてを満たす。 3.(1)～(5)のすべてを満たし、1科目が優秀である。 4.(1)～(5)のすべてを満たし、2科目以上が優秀である。 1.(1)～(2)のいずれかを満たさない。 2.(1)～(2)だけを満たす。 3.(1)～(5)のすべてを満たす。 4.(1)～(5)のすべてを満たし、2科目以上が優秀である。
(C) 自然科学、数学、情報技術に関する基礎的能力とそれらを活用できる能力	(C-1) 自然科学の素養と応用能力 (C-2) 数学の基礎能力 (C-3) 情報技術の素養と応用能力	1.(1)を満たさない。 2.(1)を満たした上で、(2)～(4)のうちの2項目を満たす。 3.(1)～(4)のすべてを満たす。 4.(1)～(4)のすべてを満たし、3科目以上が優秀である。 1.(1)～(2)のいずれかを満たさない。 2.(1)～(2)のすべてを満たす。 3.(1)～(2)のすべてを満たし、1科目が優秀である。 4.(1)～(2)のすべてを満たし、2科目以上が優秀である。 1.(1)～(2)のいずれかを満たさない。 2.(1)～(2)のすべてを満たす。 3.(1)～(2)のすべてを満たし、1科目が優秀である。 4.(1)～(2)のすべてを満たし、2科目以上が優秀である。
(D) 地理学を基礎として、その応用分野も含めた文理連携的な知識を修得し、それらを活用することができる素養	(D-1) 地理学および地球科学全般に関する基礎知識の習得 (D-2) 多様な野外調査方法の習得と調査結果を文理連携的・総合的に解析する技術の習得 (D-3) 地形・第四紀学に関する知識と技術 (D-4) 気候・地理情報学に関する知識と技術 (D-5) 環境・人文地理学に関する知識と技術	1.(1)～(4)のいずれかを満たさない。 2.(1)～(4)のすべてを満たす。 3.(1)～(5)のすべてを満たし、3科目が優秀である。 4.(1)～(4)のすべてを満たし、4科目が優秀である。 1.(1)～(2)のいずれかを満たさない。 2.(1)～(2)のすべてを満たす。 3.(1)～(3)のすべてを満たし、2科目が優秀である。 4.(1)～(3)のすべてを満たし、3科目以上が優秀である。 1.(1)～(5)のいずれかを満たさない。 2.(1)～(5)のすべてを満たす。 3.(1)～(5)のすべてを満たし、1科目が優秀である。 4.(1)～(5)のすべてを満たし、2科目以上が優秀である。 1.(1)～(5)のいずれかを満たさない。 2.(1)～(5)のすべてを満たす。 3.(1)～(5)のすべてを満たし、1科目が優秀である。 4.(1)～(5)のすべてを満たし、2科目以上が優秀である。
(E) 地理学・地球科学に関する広い知識と考え方を基に、社会が要求する地球・地域の環境にかかわる問題点を理解し、それを他者と協働で解決する方法を見いだすデザイン能力	(1) 地理環境科学基礎課題研究、「地理環境科学特別課題研究Ⅰ・Ⅱ」、「災害論」、「環境アセスメント論」を必ず履修している。(2) 地理学とその関連分野に対する社会の要求内容を理解する能力を有する。(3) 地理学・地球科学的な知識や技術を活用し、自然災害、持続可能な開発、環境保全、都市機能配置などの社会が直面する課題を分析し、理解する能力を有する。(4) 地理学的な知識や技術を活用し、社会が直面する課題に対処するための企画・立案能力を有する。また、他者との協働での作業を通じて自身の役割を認識し、課題に適切に対処することができる。	1.(1)～(4)のいずれかを満たさない。 2.(1)～(4)のすべてを満たす。 3.(1)～(4)のすべてを満たし、2科目が優秀である。 4.(1)～(4)のすべてを満たし、3科目以上が優秀である。
(F) 論理的な記述力、口頭発表力、討論などのコミュニケーション能力	(1) 「地理環境科学第一・第二専門セミナーⅠ～Ⅴ」のうち、同じ研究室が関与する2科目(4単位)以上を履修している。(2) 自分が行っている研究・作業を整理して口頭で説明できる。(3) 日本語による報告書・論文などを論理的に記述できる。(4) 各種プレゼンテーションに際して的確な質疑応答を行い、討論できる。	1.(1)～(4)のいずれかを満たさない。 2.(1)～(4)のすべてを満たす。 3.(1)～(4)のすべてを満たし、1科目が優秀である。 4.(1)～(4)のすべてを満たし、2科目以上が優秀である。
(G) 自主的かつ継続的に学習できる能力	(1) 学習・教育目標(A)～(D)までを達成し、2以上の判定基準を満たした上で、「地理環境科学特別課題研究Ⅰ・Ⅱ」、「地理環境科学特別研究Ⅰ・Ⅱ」を履修している。(2) 長期(1年)、中期(数ヶ月)、短期(数週間)の適切な学習目標を自主的に設定できる。(3) 長期、中期、短期の学習計画を立てることができる。(4) 自らが設定した計画に即して学習を遂行できる。	1.(1)～(4)のいずれかを満たさない。 2.(1)～(4)のすべてを満たす。 3.(1)～(4)のすべてを満たし、1科目が優秀である。 4.(1)～(4)のすべてを満たし、2科目以上が優秀である。
(H) 与えられた制約条件のもとで計画的に作業を進め、協働で成果をまとめる能力	(1) 地理学に関わる実習・演習を履修した上で、「地理環境科学調査Ⅰ～Ⅴ」を最低1科目(2単位)、「地理環境科学実習ⅠおよびⅡ」、「地理環境科学基礎課題研究」を履修している。(2) 必要な作業を正確に認識することができる。(3) 与えられた制約条件を理解し、作業計画を立てることができる。(4) 計画に沿って作業を進めることができる。また、他者と協働して作業を進めることができる。(5) 作業結果を総括し、目的に応じてレポートにまとめることができる。	1.(1)～(5)のいずれかを満たさない。 2.(1)～(5)のすべてを満たす。 3.(1)～(5)のすべてを満たし、3科目が優秀である。 4.(1)～(5)のすべてを満たし、4科目以上が優秀である。
(I) 国際的に通用するコミュニケーション能力	(1) 英語8単位以上、未修言語8単位以上を履修している。(2) 「地理環境科学第一・第二基礎セミナー(Ⅰ～Ⅴ)」のうち、同じ研究室が関与する2科目(4単位)以上を履修している。(3) 外国語で書かれた様々な情報を目的に応じて的確に収集することができる。(4) 収集した外国語による情報を理解し、与えられた課題に応用することができる。(5) 自分の研究(卒業論文)の概要を英語で的確に記述できる。	1.(1)～(5)のいずれかを満たさない。 2.(1)～(5)のすべてを満たす。 3.(1)～(5)のすべてを満たし、4～8科目が優秀である。 4.(1)～(5)のすべてを満たし、9科目以上が優秀である。 なお、(5)については卒業判定の際に地理環境学科の教室教授会にて審査を行う。
(J) 社会的要求の高いGIS/地理情報システムをはじめとする最先端の情報技術を駆使して社会に貢献するための能力	(1) 「地理情報科学」を必ず履修し、「数理地理学」、「地図学」、「計量地理学」から最低1科目(2単位)を履修して、当該分野の基礎的知識と技術を修得している。(2) GISの仕組みを理解し、目的に応じて使用することができる。(3) 情報技術の基礎にあるソフトウェアやハードウェアに関する情報を理解する能力を有し、新たな技術を開発するための基礎的知識を有する。(4) GISをはじめとする様々な情報技術がもつ可能性とともに、これらの技術を誤って利用した場合の危険性について十分に理解している。(5) 確かな倫理・哲学観に基づいて社会に貢献するために最先端の情報技術を活用することができる。	1.(1)～(5)のいずれかを満たさない。 2.(1)～(5)のすべてを満たす。 3.(1)～(5)のすべてを満たし、1科目が優秀である。 4.(1)～(5)のすべてを満たし、2科目以上が優秀である。